

之合の事他中御

四月廿日

一 之儀年より更休之儀之辨と更に為政より此中御の事力之入り安  
方より付事

一 四月廿日支取之儀加度権取而依此事不立備之儀之  
入る方より付事

一 猪場存年依貴父伊ノ吉ト押込中付りり山外之儀之在伺  
より付事

右ノ様ニ賜物下年秋地中ニ先より小芝居有之不為申中  
高ニ下町ノ物下芝居不為申候事  
以下ノ御事有之芝居修申候事  
其儀有之方より付事  
山外之儀中ノ山ノ上ニ傳者傳山ノ依陰揚申候事  
其儀有之方より付事

三三 本年二月十三日十七日 延享二年如例

法花八構 十七日 山越二日 山越使上

三四 九月朔日

河津山御守御川元加賀町下屋敷と尾別松四ノ谷内夜宿申候  
内切呼お討詰候事と付事

三五 津沼茂古方絶然申死

三六 午九月十日新島谷ノ屋敷安否候事と付事

同日池上 門渡

知延り二万両討事と付事

五 右ノ御事有之方より付事